

第貳拾図 仏身座像

なお、受講については「本講義ハ何レモ研究本位ノモノトス、故ニ聴講者ハ特種研究者或ハ特種研究希望者ニシテ且其聴講ヲ希望スル講義ノ完了スルマデ連續出席シ得ルモノニ限ル」という規定があった。

因みに第一次講義（大正十五年五月一日開講）については「大正十五年七月以降、特殊研究講義ニ関スル往復書類、教務掛」が現存するのでそれによってどのような人が受講したかがわかる。即ち職業別では官吏三〇、教官五、教員二二、画家七五、学生二二〇、会社員四、商二、工五、新聞・雑誌記者四、僧侶・著述家・人夫各一、無職九五、計四六五であり、出身学校別では本校一四九、女子美術学校八七、私塾二八、東京帝国大学二四、東京女高師・川端画学校各一二、早稲田大学一〇、文化学院八、文部省図書館講習所七、東京高師五、日本大学三、聖心女子大学・府立第一高女各三、京都帝国大学・九州帝国大学・北海道帝国大学・駒沢大学・中央大学・慶応義塾大学・日本女子大学・上智大学・同志社大学・札幌農科大学・華族女学校・東京女子大学・女子学習院・第一高等学校・外国語学校各一、その他九九、合計四六五とある。なお、この文書には松岡、矢代両教授の講義要項も綴込まれている。

⑩ 郊外写生、郊外教授等
郊外写生日本画科

年	月	日	学年	備	考
大正12	1	29	1	・期間中学科は必ず出席すること。	
	5	21	〃	〃	
	5	5	〃	〃	
	5	26	3、4	11・17 監督教官付添	
			2	11・14 方面随意	
				右の写生を基として11・19	
				〃 30の間に風景画一枚を制作し、	
				11・30に提出すること。	
13	1	28	1	・期間中学科は必ず出席すること。	
	6	22	2	〃	
	6	6	2	〃	
	10	27	2	〃	
	11	11	2	〃	
	11	1	2	〃	
			4	右の写生を基にして次週に風景画	
				(小画箋三分の一)を制作するこ	
				と。	
				・同前	
				(同前)	
14	2	2	1	・	
	2	2	1	・	
	4	5	3、4	右写生を基にして教室で風景画を	
	5	2	4	制作し、5・16までに提出すること。	
	5	6		写生地 御宿附近。	
	5	18	2	・	
	6	1	2	・	
	6	6	5	写生地 潮来方面。	
	10	1	3	〃 方面随意。	
			2	〃	
				右写生を基にして教室で二週間制	
				作し、10・30完成のこと。	
				・同前	
				〃	
				写生地 青梅附近 監督 小泉勝	

14春	大正13夏	年	1~4	学年	備	考
一年生	一年生	植物写生	二~四年生	画題、大きさ随意	小画箋三分の一	三枚
一年生	一年生	郊外写生	画用紙四分の一	一枚数制限なし		

休業期の宿題 日本画科

昭和2	15	11	10	5	1	1
6・13 5・21	2 5	11 15 11 21	10 31 6 6	5 31 6 6	1 25 1 1	1 17 1 22
2 5	2	1 4	2 3	3 5	1 4	3 4
・同前(期間中体操授業免除)	・同前	・同前(二~四年生は期間中体操授業免除)	・同前	・同前	・同前	・同前
「旧写生ノ使用ヲ禁ス 大サハ二尺ニ二尺五寸位 自宅製作ハ線書迄ニ止メ置ク可シ 前記ノ規程ニ違反シタル製作ハ審査外トス」	右写生を基とし5・9より一週間教室で風景画を制作し、其週土曜日まで提出。	右写生を基とし5・9より一週間教室で風景画を制作し、其週土曜日まで提出。	海を取入れた風景	方面随意	方面随意	方面随意

爾、篠田十一郎。

大正14	年	5・27	月日	2	学年	写生地	銚子方面	備	考
------	---	------	----	---	----	-----	------	---	---

郊外写生 図画師範科

昭和2	15	14	13	大正12	年	5・27	月日	2	学年	備	考
10・24 5・11 5	4・25 5・7	11・2 11・14	11・3 11・15	4・23 5・5 10	1 29 2 10	1 26 2 9	1 18 1 30	1 17 1 22	1 17 1 22	1 17 1 22	1 17 1 22
全体	1~4	全体	1~4	全体	1~4	全体	全体	全体	全体	全体	全体
・同前(二~四年生以上は期間中体操授業免除)	・同前(二~四年生以上は期間中体操授業免除)	・同前(二~四年生以上は期間中体操授業免除)	・同前(二~四年生以上は期間中体操授業免除)	・同前(二~四年生以上は期間中体操授業免除)	・同前(二~四年生以上は期間中体操授業免除)	・同前(二~四年生以上は期間中体操授業免除)	・同前(二~四年生以上は期間中体操授業免除)	・同前(二~四年生以上は期間中体操授業免除)	・同前(二~四年生以上は期間中体操授業免除)	・同前(二~四年生以上は期間中体操授業免除)	・同前(二~四年生以上は期間中体操授業免除)
5・25までに作品提出	5・25までに作品提出	5・25までに作品提出	5・25までに作品提出	5・25までに作品提出	5・25までに作品提出	5・25までに作品提出	5・25までに作品提出	5・25までに作品提出	5・25までに作品提出	5・25までに作品提出	5・25までに作品提出

郊外写生 西洋画科

二~四年生	課題随意	小画箋紙三分の二以上、枚数制限なし。
4・13までに提出のこと。		

し。忠実なる写生を求む。

年	月	日	学年	備	考
大正13	5	5	29	郊外撮影 行徳附近	
14	6	13		与瀬浅川附近	
15	2	6		野外演習 手賀沼 職員四名、生徒七名	
	5	4		横浜近郊 職員三名、生徒七名	
				御宿	

① 依頼製作舞案置物

大正十四、十五年度において本校は天皇后銀婚式祝賀の献上品の製作を各方面から依頼された。その一つである舞案置物については左の記録がある。

兩陛下御大婚滿二十五年奉祝献上品

舞案置物

二基

一、胡蝶樂 右部(高麗部)

一、迎陵類 左部(唐部) 番舞

共ニ童舞ニシテ舞者ハ四人或ハ二人ナリ 左部先ツ舞ヒテ

右部答ヘ舞フ 併セテ一番ノ舞トナル 之ヲ番舞ト云フ

天冠、挿頭華ヲ戴キ「迎陵類」ハ銅子ヲ持チ「胡蝶樂」ハ

餘齋花(山吹)ヲ執ル

人物ノ高さ約八寸

舞臺ノ巾一尺六寸 奥行一尺二寸 高三寸

台巾一尺八寸 奥行一尺四寸 高二寸五分

製作関與者

圖案

人物原型

鑄造

彫金監督

彫金「迎陵類」

東京美術學校教授

東京美術學校教授

東京美術學校教授

東京美術學校教授

東京美術學校教授

渡邊 啓三

沼田勇次郎

阿部 胤齋

清水 龜藏

滑川 兼彦

松原 繁信

同 鴨 幸太郎

同 市島市太郎

同 藤本 正義

同 大須賀 喬

舞臺 臺及箱

木地指物

塗

蒔繪

彫刻

金具

前田 文六

松波 多吉

松田 権六

和田 季雄

深瀬 嘉臣

右東京市ヨリノ依頼ニヨリテ東京美術學校ニ於テ製作セシモノ

ニシテ昨春囀ヲ受クルヤ直ニ考按ヲ起シ宮内省樂部ノ好意ニヨ

リテ特ニ演舞ヲ請ヒ之ヲ寫シ圖構定マリ原型成リテ之ヲ鑄造シ

更ニ鍛金ト彫金トノ技法ヲ加ヘテ完成セシモノ 大正十五年秋

天長節前工ヲ畢ル

人物ノ顔面ハ白四分一(朧銀)頭髮ハ赤銅下着及袴等ハ純銀ニ

テ「迎陵類」ノ装束ハ銅地ニ純金ノ文様象嵌「胡蝶樂」ノ方ハ